

Vivliostyle Simple Report Theme

著者の名前1

著者の名前2

このテーマは、Vivliostyle を使用してシンプルなレポートを書くためのテーマです。Vivliostyle Flavored Markdown (VFM) を使用することで、Markdown 形式で書かれた原稿を PDF などの形式に変換できます。

公式テーマである Academic を参考に、いくつかの機能を追加しています。

1 テーマの使い方

(加筆予定)

2 機能の一覧

2.1 表紙ページ

この機能は、Academic テーマの実装をほとんどそのまま使用しています。

.cover クラスを持つ div 要素で囲むことで、表紙ページを作成できます。.cover クラス内の h1 要素がレポートのタイトルとなり、.author クラス内の ul 要素が著者名のリストとなります。

```
<div class="cover">  
  
# Vivliostyle Simple Report Theme  
  
<div class="author">  
  
- 著者名1  
- 著者名2  
  
</div>  
</div>
```

3 ソースコード

3.1 シンタックスハイライト

```
function main() {}
```

```
```javascript  
function main() {}
```
```

3.2 キャプションを付与

```
app.js
```

```
function main() {}
```

```
```javascript:app.js
function main() {}
````
```

または、次のようにしてもよい

```
```javascript title=app.js
function main() {}
````
```

4 数式の挿入

$$ax^2 + bx + c = 0 \quad (4.1)$$

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad (4.2)$$

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad (4.3)$$

5 数式の参照

上の数式 (4.3) は、html 要素に `eq_example` という id が付与されています。

```
<div class="math" id="eq_example">
$$x=\frac{-b\pm\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$
</div>
```

この id を指定することで、数式を参照できます。 `[](#eq_example){.ref=math}` のように書くことで、(4.3) と表示できます。

6 図表の挿入・参照

6.1 図



Vivliostyle

図 1 Vivliostyle Logo

`![Vivliostyle Logo](./assets/Logo%20(Mark%20+%20Type).png){#logo}` のように書くことで、画像に `id="logo"` が付与されます。この `id` を指定することで、画像を参照できます。 `[](#logo){.ref-theme=fig}` のように書くことで、図1のように画像を参照できます。

6.2 表

表1 システムリソースの使用状況

項目	値	説明
CPU 使用率	45%	現在の CPU 使用率
メモリ 使用量	2.3GB	使用中のメモリ量
ディスク 容量	128GB	総ディスク容量
空き 容量	45GB	利用可能な空き容量

`<figure id="tbl-resource">` で囲んであります。この `id` を `[](#tbl-resource){.ref-theme-tbl}` のように指定することで、表1のように表を参照できます。

7 箱

- 箱で囲むことができます。
- `.box` クラスを指定します。
- 箱の見た目や役割を変更したい場合は、次のいずれかの値を追加してください。
 - `.example` - 例題
 - `.theorem` - 定理
 - `.proof` - 証明
- `.box` 要素内の先頭や最後にある要素の余白を削ります。
- 要素内の先頭に `**微積分学の基本定理**` などと書くと、その行が見出しとなり、自動で番号が挿入されます。

```
<div class="box">  
  
**微積分学の基本定理**  
  
微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。  
  
</div>
```

微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。

次のように、`style` に `--vs-theme--box-heading-position: absolute;` を指定すると、見出しを箱の枠線上に表示できます。

```
<div class="box" style="--vs-theme--box-heading-position: absolute;">  
  **微積分学の基本定理**  
  
  微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。  
</div>
```

微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。

7.1 例題

- 見出しに Ex. が付きます。

Ex. 7.1 微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。この要素には `id="box_ex_ref_aaa"` が付与されています。

Ex. 7.2 微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。

Ex. 7.3 微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。

Ex. 7.4 微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。

• 参照方法

- `[[#box_ex_ref_aaa]{.ref-box}]` のように書くことで、枠の参照ができます。
- [Ex. 7.1](#)

7.2 定理

- 背景が灰色の枠を生成します。

微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。

微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。この要素には、`id="box_ref_theorem_bbbb"` が付与されています。

微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。

- 参照方法

- `[](#box_ref_theorem_bbbb){.ref-box}` のように書くことで、枠の参照ができます。
- [Theorem 7.2](#)

7.3 証明

- 左の枠線のみがついた枠を生成します。

Proof 7.1 微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。

Proof 7.2 微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。

Proof 7.3 微積分学の基本定理

微積分学の基本定理は、微分と積分の関係を示す定理です。この要素には、`id="box_ref_proof_cccc"` が付与されています。

- 参照方法

- `[](#box_ref_proof_cccc){.ref-box}` のように書くことで、枠の参照ができます。
- [Proof 7.3](#)

8 引用

8.1 脚注

章の最後にまとめて脚注を挿入できます。

VFM is developed in the GitHub repository¹. Issues are managed on GitHub². Footnotes can also be written inline³.

8.2 傍注

注釈を付与したい内容のあるページの余白に注釈を表示します。

9 Frontmater

(You can define metadata on the top of the Markdown file. Try to set `[lang]` option `[ja]` in the frontmatter! If you need more information, please check Frontmatter part in VFM document.)

10 Hard new line

(Try to set the `[hardLineBreaks]` option `[true]` in the frontmatter!)

はじめまして。

Vivliostyle Flavored Markdown（略して VFM）の世界へようこそ。VFM は出版物の執筆に適した Markdown 方言であり、Vivliostyle プロジェクトのために策定・実装されました。

11 Image



11.1 with caption and single line



Vivliostyle

図 2 Vivliostyle Logo



Vivliostyle

図 3 Vivliostyle Logo



text

Vivliostyle

12 Math equation

13 Raw HTML

Hey

13.1 with Markdown

- hoge
- fuga

14 Ruby

This is Ruby

14.1 Escape pipe in ruby body

a^c|b

15 Sectionization

Plain

16 Introduction

17 Welcome

18 Level 1

18.1 Level 2

Not Sectionize

- a. VFM
- b. Issues
- c. This part is a footnote.